

図書館サイエンス夜話 とは

サイエンスカフェとはもともと科学者や技術者と市民が科学の話をするカフェのこと。1998年にイギリスで始まったとされています。現在では、特に飲食をする場でなくとも、語り手と聞き手が打ち解けた雰囲気の中で科学について語る場をサイエンスカフェといっています。

「図書館サイエンス夜話」は鶴舞中央図書館があいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの協力を得て開催するサイエンスカフェです。あいちサイエンスフェスティバルの期間中、三夜にわたり開催いたします。皆様ふるってご参加ください。



名古屋市鶴舞中央図書館

名古屋市昭和区鶴舞
1-1-155

電話:052(741)9822

古紙パルプを含む再生紙を使用しています

第一夜

図書館サイエンス 夜話ブックリスト①

第一夜 平成27年10月2日(金)
「愛知県民が滅ぼした昆虫～昆虫から見た愛知県の生物多様性と
その危機～」
豊橋市自然史博物館学芸専門員
長谷川道明 氏



あいちサイエンスフェスティバル@つるま

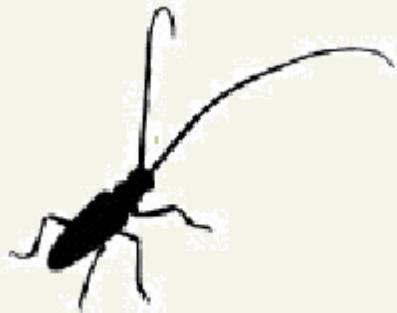
第一夜のブックリスト (講師のコメントつき)

★講師の著作関連本

- ・日本産カミキリムシ検索図説 大林延夫／[ほか]編 東海大学出版会 1992
- ・日本産カミキリムシ 大林 延夫, 新里 達也 共編 東海大学出版会 2007
- ・カブト・クワガタ・昆虫のウソ?ホント? (学研のウソ?ホント?シリーズ) 学習研究社 2005
- ・甲虫 (カラー・ハンドブック地球博物館) 小林裕和／[ほか]著 PHP研究所 1994

★講師のオススメ本(関連本)

- ・レッドデータブック2014 5昆虫類-日本の絶滅のおそれのある野生生物 環境省 編, 2015
- ・外来種ハンドブック 日本生態学会編 村上興正監修 鷲谷いづみ監修 地人書館 2002
- ・レッドデータブックあいち動物編 2009 愛知県県の絶滅のおそれのある野生生物 愛知県環境調査センター編 2009



★講師のオススメ本(面白い本)

- ・人間はどういう動物か(ちくま学芸文庫) 日高敏隆著 筑摩書房 2013

私たちが日常抱える色々欲望や悩み、あるいは社会の流行など、これを(人を動物の一種として)動物行動学的視点から、ユーモアたっぷりに、でも大真面目に解説したエッセイ集。視点を変えるというのは、こういうことかと、眼から鱗が落ちる読後感爽快な一冊です。

★講師のオススメ本(図鑑類)

- ・原色日本甲虫図鑑全4巻 保育社

発行から20年以上たっていますが、日本産の甲虫類をあつかった他に類のない図鑑です。

- ・日本産 ハナバチ図鑑 多田内修・村尾竜起 編 文一総合出版 2014

ミツバチを含むハナバチ類は、花粉の媒介者として生態系で特に重要な昆虫で、その生物多様性の減少は、直接的に人類にダメージを与える存在です。にもかかわらず、国内にはどのくらいの種類がいるのか、多くの人は関心を持っていません。この図鑑は、国産全種を網羅した、世界初の写真図鑑です。

・むし社の大図鑑シリーズ

- 第1巻 世界のクワガタムシ大図鑑 水沼哲郎・永井信二著 1994
- 第2巻 世界のオサムシ大図鑑 井村有希・水沢清行著 1996
- 第3巻 世界のハナムグリ大図鑑 酒井香・永井信二著 1998
- 第4巻 世界のタマムシ大図鑑 秋山黄洋・大桃定洋著 2000
- 第5巻 世界のゼフィルス大図鑑 小岩屋 敏著 上田恭一郎 監修 2007
- 第6巻 世界のクワガタムシ大図鑑 藤田宏著 水沼哲郎・永井信二・鈴木勝彦監修 2010
- 第7巻 日本産タマムシ大図鑑 大桃定洋 福富宏和著 2013
- 第8巻 日本の迷蝶大図鑑 菅原春良・高橋直著 2014

・昆虫文献六本脚図説シリーズ

- 日本産オサムシ図説 井村有希・水沢清行 共著 2013
- 日本産ホソカタムシ類図説 青木淳一著 2012
- 日本産コガネムシ上科図説 第1巻 食川井信矢・堀繁久・河原正和・稲垣政志編著 コガネムシ研究会監修 2005

日本の昆虫—特に生物多様性に関する研究は、主に「虫屋」と呼ばれるアマチュア研究者たち(又はそうした人たちから輩出したプロの研究者)の努力によって支えられ、解明が進んできました。これらの図鑑(むし社大図鑑シリーズ、昆虫文献六本脚図説シリーズ)は、そうした「虫屋」たちを中心にした日本の昆虫研究、コレクションの集大成ともいえるものです。現在「虫屋」は少子高齢が顕著で絶滅の危機にあり、今後このレベルの図鑑の発行はできないかも。